

監修者メッセージ

ソーシャル・ビジネスを理解し、
社会的な課題の解決に貢献したいと
考えられる皆様へ

九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス
研究センター(SBRC)
センター長

星野 裕志 HOSHINO Hiroshi

九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター(SBRC)では、革新的なソーシャル・ビジネスの創出を応援することを目的に、2012年から毎年YYコンテスト(Yunus & You Social Business Design Contest)を開催し、最終審査までの約8ヶ月にわたるワークショップとメンターの伴走によるプログラムを実施しています。これはグラミン銀行の創設者であり、ノーベル平和賞受賞者であるムハマド・ユヌス先生の提唱されるソーシャル・ビジネスを具現化するコンテストであり、ここから既に50を超えるソーシャル・ビジネス・カンパニーが誕生しています。

これからソーシャル・ビジネスを志向する人たちが、その考え方を理解し、先行するプロジェクトの事例から学び、立ち上げに至るまでの最適なサポートは何か。今後これらに続くさらに多くの活動をサポートする方法として考えたのが、ケース・メソッドでした。101年前にハーバード・ビジネススクールで生まれたこの教授法は、実際の組織の事業をケースを通じて疑似体験することにより、その成功や失敗の要因や具体的な手法を学習するマネジメント・トレーニングの方法です。ケース・メソッドは、自らが主体的に学ぶアクティブ・ラーニングの手法として、世界の多くのビジネススクールをはじめとして、様々な分野で活用されています。

ソーシャル・ビジネスの立ち上げには、社会的な課題の解決に貢献したいという強い思いや独創的なアイデアと共に、資金が必要になります。公益財団法人九州経済調査協会と一般社団法人ユヌス・ジャパンの連携による「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」は、休眠預金活用事業の資金配分団体として一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)より採択され、2021年度より3年間にわたり本制度に基づく助成事業を行ってこられています。

今回YYコンテストから誕生した5つのソーシャル・ビジネスカンパニーと、休眠預金活用事業の支援を受けた5つの実行団体、地域財団・地域ファンドの2つのプロジェクトをケース集にまとめました。

12のケースの活動内容は多様ですが、構成は統一しています。プロジェクトの概要、ソーシャル・ビジネスを立ち上げた思い、社会的なインパクト、今後の展開や課題といった内容です。

このソーシャル・ビジネスケース集が、社会的な問題にソーシャル・ビジネスで取り組みたいと考えている方々や、事業を通じて課題の解決に貢献する新しいビジネスの手法を理解し、また導入に向けて検討される方々にとって、良いモデルとして使われることを期待しています。

ケースでご紹介するどのプロジェクトも、いずれも強い問題意識を礎に多くの困難を乗り越えて、ソーシャル・ビジネスを実現してこられました。ここでは、ムハマド・ユヌス先生が掲げられるソーシャル・ビジネスの7つの原則の最後にある「楽しみながら」もまた、持続的な活動には必須の要素なのだと思います。

私たちの周りにはあまりにも多くの社会的な課題がありますが、ソーシャル・ビジネスを通じて、ひとつひとつ解決に向かうことを願ってやみません。